

発行 財団法人盛岡国際交流協会
〒020-8531
岩手県盛岡市若園町2番18号 若園町分庁舎2階

TEL 019-626-7524 FAX 019-622-6211
URL <http://www.e-morioka.com/~moriintl/top.html>
E-mail moriintl@nifty.com

姉妹都市締結 25 周年記念事業

社会人ビクトリア市研修を開催！！

12月6日（月）から12日（日）までの7日間の日程で、社会人ビクトリア市研修を実施しました。今回の研修は、今年度、盛岡市とカナダ・ビクトリア市の姉妹都市締結25周年を迎えたことを記念し、実施したものです。報道機関、情報システム企業及び教育機関等に携わる5人で研修団を編成し、ビクトリア市内の企業等と情報交換をしてきました。

ビクトリア市に到着した翌7日（火）から、各分野に分かれ、新聞社、テレビ局、情報システム会社や学校などに直接赴き、研修を開始。早速、会社内や現場を見学したり説明をしていただいたりしました。また、直接現地の社員を通して、その会社や社会の現状などの話を聞き、社員の仕事や社会に対する姿勢



↑バンクーバーアイランド・テクノロジーパークでのミーティングの様子



↑ビクトリア市内のチャイナタウンで説明を受ける一行

を見ることにより、各々の仕事を見つめ直すこともできた実りのあるものとなりました。

また、ビクトリア市長をはじめ、ビクトリア市役所及びビクトリア盛岡友好協会の皆さんから、大変な歓迎を受け、行政や中学生だけではなく、社会人の交流を行うことは、ビクトリア市側にとっても、実りのある研修であることを肌で感じる事ができました。

姉妹都市締結25周年記念事業として行った社会人ビクトリア市研修ですが、初めて行ったことから多くの反省点がありました。これを機に交流を続け、この反省点を改善しながら、お互いに刺激を受け合いながら成長していけるような関係を築くことができればと考えています。

社会人ビクトリア市研修で得たもの



団長：佐々木和一郎さん
(盛岡商工会議所)

訪問したどの企業も社会貢献を企業活動の目的の一つに掲げており、表彰状や盾を会社の受付や入口に設置し、いかにボランティア活動や社会貢献をしているかが企業の大事な目標やPRになっていることがよく分かりました。これからは日本の企業も社会貢献が企業イメージと社員のモチベーションの高揚に不可欠となる時代が来るのではないのでしょうか。

この社会人研修はこれからも続けていくことにより、ビクトリア市と盛岡市の新世代間で、また他分野での交流が広がることになると感じた研修でした。

団員：清水絢子さん
(岩手日報社…新聞社)

地元紙の記者との交流を通じ、知らなかったビクトリア市の問題や現状を知ることができ、それらが紙面でどのように報道され、記者はどのような姿勢で取材に臨んでいるかを肌で感じることができたと思います。

今後、紙面上での情報交換などが出来れば、両市にとって参考にし合うことが出来るとともに、新たな交流の取り組みにつながるかもしれないと感じました。



ビクトリア市長と



団員：齊藤和正さん
(株式会社アイシーエス
…情報システム)

職種が行政を相手にした営業職のため、一番勉強になったのはビクトリア市庁舎内の情報システムについてでした。また、業務内容が似ている企業では、多くの情報交換ができ、今後、仕事上でのお客様への提案活動などに役立ちそうな情報や事例をたくさん収集することができました。

団員：石垣美和さん
(株式会社IBC岩手放送
…テレビ局)

訪問した、姉妹局のCHEKテレビは、一度つぶれかけたものの、市民の支援と社員自身の投資で放送を継続している世界初の放送局です。市民と企業のつながり、企業の地域貢献の姿勢など私達が学ぶべき点が沢山ありました。己を振り返り、会社の第一線で働く忙しい年代こそ、このような研修に参加して外に目を向け、市民としての意識を新たにすることが大切だと実感できた研修でした。

団員：佐々木幸恵さん
(盛岡中央高等学校…教育)

ビクトリアの小・中・高・大学を訪問しました。世界第2位の教育レベルを誇るカナダでは教育環境がとても整備されており、特にもカウンセラーや心理学者との連携がとれていて教員の心理的負担も少ないと感じました。今後も盛岡市内の学校にビクトリアニュースを配布したり情報交換をしたりするなど、様々な形で交流を深め、盛岡市の教育レベルも上げていくことができれば良いと思います。

東日本大震災について

3月11日(金)の午後2時46分ごろに三陸沖を震源とする国内観測史上最大の地震が発生し、盛岡でも震度5強を観測しました。被災された方々へお見舞いを申し上げます。

盛岡市内でも外国人を含む大勢の人々が避難所で数日間を過ごしましたが、少しずつ余震回数は減少しているものの、まだまだ警戒が必要です。「備えあれば憂いなし」。引き続き余震への注意をするとともに、いざという時に備え「ラジオ(乾電池対応型)」、「ラジオ用乾電池(予備)」、「ローソク」、「マッチ」及び「非常用食料」などを準備しておき、地震が発生した際は落ち着いて行動しましょう。

また、地震や原子力発電所の爆発・火災などに

伴い、不安を煽るような根拠の薄弱なチェーンメール、ツイッターやブログなどがみられます。ニュースやテレビ、新聞などで情報を収集し、どの情報が正しいのかを見極め、惑わされないように注意しましょう。

さらに、他県では義援金を装った振り込め詐欺が発生しています。義援金を振り込む場合は、電話での依頼などには応じず、テレビやラジオなどでお知らせしている口座へ振り込み、詐欺に合わないよう気をつけましょう。

協会では2010年10月に発行した「LIVING GUIDE MORIOKA 生活情報もりおか(英語版と中国語版)」で地震に対する備えを特集していますので、お知り合いに外国人の方がいる場合はご連絡ください。

続・留学生のつづやき（ベトナム編）

「岩手の生活」～岩手大学大学院 ゲン タイン ギアさん～



岩手大学のスキー研修合宿 in 安比高原スキー場

私は2004年4月に来日しました。最初の二年間は、東京の日本語学校で学びながら大学受験の準備をしました。違う環境で大学生活を過ごそうと思い、日本語学校の先生の勧めもあり、岩手大学を選びました。四年間の大学を終え、去年から岩手大学大学院工学研究科に在籍しています。

日本は敗戦後、生産の工場や設備が壊され、石油などの資源がないながらも25年間で世界のトップの位置を争うまでに成長したことは「世界の奇跡」とも呼ばれています。ベトナム人はいつも、日本は世界一の技術大国だと思っています。電化製品を始めバイクや生産機器など、日本製のものは、機能はもちろんのこと、信頼性も高く長持ちです。エンジニアを目指していた私は、技術なら日本しかないと思い、留学先に日本を選びました。

ベトナムは日本と違って、四季がなく乾季と雨季しかありません。日本に来て、初めて本当の春夏秋冬を体験しました。初めて見た雪の感動は未だに覚えています。東京に比べ岩手は季節の変わり目がはっきりしています。冬はとにかく厳しいのですが、春が来ると桜の枝先に、蕾が芽生えてくるようすは何よりすばらしいものです。

大学では、水泳部に所属しており、副主将を務

めています。ベトナムの学校は、日本のようにサークル活動はほとんどなく、放課後は塾に行くか帰宅します。そのため、部活は私の憧れでした。水泳部に入って驚いたのは、非常に厳しく本格的な練習をやっていたことです。しかし、時間が経つにつれて、練習に慣れ、今では楽しくやっています。周りは日本人なので、自分がその環境に溶け込まなければならず、その中で、沢山の経験と勉強が出来ました。それらの経験はこれからの自分にとって大変貴重なものになると思います。

私は「いわて留学生大使」と「岩手大学留学生会」を務め、岩手県内の様々な国際理解講座や文化紹介イベントに参加しました。イベントに参加したことで、岩手に在住しているベトナム人が少ないためか、岩手の人たちは、ベトナムといえば戦争を思い浮かべる方がほとんどで、ベトナムについてあまり知らないことが分かりました。

料理が好きで、日本人と一緒にベトナム料理を作ります。意外にも日本とベトナムの共通点が沢山あり、驚きました。料理をしながら、お互いの文化を語り合い、そして、理解を深めたことにより、日本の文化だけではなく、自国の文化も再発見することができました。

私はこの六年間、日本で沢山の人々に会いました。日本人はもちろん、他の国の人とも交流ができ、様々な国や地域の文化に触れ合いました。

勉強や部活の忙しい毎日を送っていますが、岩手の生活は本当に充実し、楽しいことばかりです。大学生活は残り一年になりましたが、残りの時間に岩手の素晴らしいところを更に発見し、岩手の人々にもっと出会いたいと思っています。



着物教室で日本の文化に触れる！！

通訳ボランティア講習会（英語・中国語）

「もりおか雪あかり」と「いわて雪まつり」について、通訳・翻訳ボランティア登録者を対象に講習会を開きました。

イベントの時期に合わせ、1月29日（土）に講習会を開催。外国人観光客に、英語と中国語でどのように案内するかを学習しました。

また、この講習会の受講者の中から希望者7人が2月5日から13日まで雫石町の小岩井農場で開催された「いわて雪まつり」に通訳ボランティアとして参加してきました。協力したのが平日と

言うこともあり、外国人入場者は日によって様々でしたが、実際に外国人と会話をし、実践できたことで、良い刺激を受けていました。



講習会のようす
（左：英語、上：中国語）

アットホームな雰囲気です！胃も心もほんのりあったか

「マルコム先生プロデュース！ カナダのクリスマス料理講座」

12月12日（日）にカナダのクリスマス料理講座を開催しました。講師はカナダ出身の元シェフのマルコム先生です。クリスマスが近いこともあり、カナダの家庭でクリスマスに食べるという七面鳥の丸焼き、ブイヤベーススープやサーモンパイの作り方を教えてくださいました。

日本ではあまり見かけることがない七面鳥の丸焼きの調理は貴重な体験でした。



サーモンパイの作り方を勉強中！

ベトナム料理講座



先生の作り方を真剣に学ぶ受講者

今年度3回目の料理講座を2月19日（土）に行いました。今回の料理のテーマは「ベトナム料理」。講師は盛岡情報ビジネス専門学校に通うベトナム人の留学生4人です。メニューは、手羽先の唐揚げ、揚げ春巻き、魚とパイナップルのスープ、そしてデザートにベトナム風かき氷を作りました。パイナップルのスープは日本では馴染みがありませんが、なかなかのおいしさ！4品も作ったので、お腹もいっぱいになり、満足のいく内容でした。

中国語と中国経済を学ぶ！

2月2日から3月9日まで毎週水曜日、全6回コースで中国語講座を開催しました。講師は、協会主催の中国語講座でおなじみの陳先生です。

近年、多くの日本企業が中国進出をしていることもあり、今回の中国語講座は「ビジネス」をテーマに開催しました。中国ビジネスの中で、よく使われる言い回しを教えてくださいいただき、電話での応対や商談等の打ち合わせの際に、どのような中国語を使えばよりよいかを学びました。



いつも和やかな雰囲気の授業

平成23年度 賛助会員大募集！！



平成23年度の賛助会員を募集しています。幅広い国際交流を展開するため、ご協力をお願いします。

賛助会員になっていただくと、協会主催の料理講座等イベントの先行申込や参加費の割引、図書の貸出しが受けられます。ぜひご加入ください。

振込手数料が無料となる振込用紙もあります。協会事務局まで電話かEメールでご連絡ください。

TEL：019-626-7524

Eメール：morintl@nifty.com

年会費：個人 1,000円
団体 10,000円

昨今の世界情勢を共に考える

共同通信社国際局次長の上田^{ともき}泉貴さんをお迎えし、11月7日（日）に国際理解講座を開催しました。

自身がニューヨーク支局にいた際に起きた在ペルー日本大使公邸での人質事件やアメリカの9.11同時多発テロ事件、また安全保障、中国の現状や日中関係についてお話しいただきました。

参加者の多くが熱心に耳を傾け、質疑応答の時間では多くの質問があり、関心の高さを感じた講座になりました。

自身の体験を交えてお話し→
する上田さん



編集後記

3月11日に東日本大震災が発生しました。盛岡ではあまり被害がなかったものの、たくさんの方が避難しました。また、ニュース等で沿岸地方の様子が映し出されると、言い表せないほどの悲しみに襲われます。

みんなで助け合い、被災地の復興を支援していきましょう。

今回の震災でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々へお見舞い申し上げます。一日でも早く復興することをお祈り申し上げます。

(にゃーご)